



JASDAQ

平成 21 年 7 月 9 日

各 位

神奈川県横浜市中区長者町五丁目 85 番地

株式会社ジー・トレーディング

代表取締役社長 許 哲

(コード番号：3348 JASDAQ)

問い合わせ先：執行役員 I R 室長 齋藤 正明

TEL (045) 232 - 2011 (代表)

営業外損失、特別損失、特別利益の発生および第 2 四半期ならびに通期業績 予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 21 年 4 月 20 日に公表いたしました平成 22 年 2 月期第 2 四半期（連結・個別）の業績予想（平成 21 年 3 月 1 日～平成 21 年 8 月 31 日）ならびに通期（連結・個別）の業績予想（平成 21 年 3 月 1 日～平成 22 年 2 月 28 日）を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 営業外損失、特別損失および特別利益の発生ならびにその内容

(1) 営業外損失および特別損失の内容および金額

(連結)

平成 21 年 4 月 20 日公表の第 2 四半期業績予想および通期業績予想に対し、子会社の G-Trading RUS において当社に対する買掛債務に対する為替差損が 224 百万円、同じく Samurai Motors において当社に対する買掛債務に対する為替差損が 8 百万円発生したことに加え、ロシア向け債権に関連して行った為替予約に対する為替差損 24 百万円が発生し、その全額 257 百万円を営業外損失として計上することといたしました。また、平成 21 年 6 月 4 日に発表いたしました「経営合理化（希望退職者等の募集）に関するお知らせ」に関連して発生した事業整理損失を 55 百万円、子会社株式会社ジー・バス販売において発生した事業整理損失を 11 百万円、その合計金額である 66 百万円を特別損失として計上することとなりました。

(個別)

個別業績では、ロシア向け債権に関連して行った為替予約に対する為替差損 24 百万円が発生し、営業外損失として計上することに加え、連結子会社の当四半期損失の発生に対し、貸倒引当金を 145 百万円、上記事業整理損失を 55 百万円、その合計金額である 200 百万円を特別損失として計上することとなりました。

(2) 特別利益の内容および金額

平成 21 年 4 月 20 日公表の第 2 四半期業績予想および通期業績予想に対し、平成 21 年 2 月期に貸倒引当金対象債権として計上しましたロシア向け売掛債権の一部が回収されたことによる貸倒引当金戻入益を 52 百万円、夏季賞与の支給を見合わせたことによる賞与引当金戻入益を 16 百万円、その合計金額 68 百万円を特別利益に計上することとなりました。

2. 平成 22 年 2 月期第 2 四半期業績予想の修正 (平成 21 年 3 月 1 日 ~ 平成 21 年 8 月 31 日)

(連結)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	5,405	80	126	126
今回修正予想 (B)	3,150	80	355	355
増減額 (B - A)	2,255	0	229	229
増減率 (%)	41.7	-	-	-
(ご参考)				
前年同期実績	9,325	78	31	40

(個別)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	3,950	57	85	85
今回修正予想 (B)	2,250	70	120	320
増減額 (B - A)	1,700	13	35	235
増減率 (%)	43.0	-	-	-
(ご参考)				
前年同期実績	9,264	23	39	30

3. 平成 22 年 2 月期通期業績予想の修正 (平成 21 年 3 月 1 日 ~ 平成 22 年 2 月 28 日)

(連結)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	11,500	150	60	55
今回修正予想 (B)	6,450	150	170	175
増減額 (B - A)	5,050	0	230	230
増減率 (%)	43.9	-	-	-
(ご参考)				
前年同期実績	15,317	734	1,868	4,002

(個別)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	8,500	55	5	5
今回修正予想 (B)	4,100	50	35	230
増減額 (B - A)	4,400	5	40	235
増減率 (%)	51.8	9.1	-	-
(ご参考)				
前年同期実績	14,295	520	675	3,660

4. 業績予想修正の理由

(連結)

売上高に関しましては、中古商用車輸出市場の縮小の影響による減少に加え、平成 21 年 1 月 30 日に発表いたしました「人員削減等の合理化に関するお知らせ」と平成 21 年 6 月 4 日に発表いたしました「経営合理化(希望退職者等の募集)に関するお知らせ」により、従業員数が発表前の 72 人から 44 人に減り、当社の営業スタイルが人的資源に依存することからこの影響を受け、大幅に減少する見通しであります。

一方で、営業利益に関しましては、平成 21 年 1 月 30 日に発表致しました「人員削減等の合理化に関するお知らせ」のもと、営業拠点の統廃合や希望退職者の募集等でコスト削減を中心とした収益構造改革を強力に進め、親会社のガリバーインターナショナルとの連携により、情報量を増やし、仕入ソースと販路を拡大することで業界シェアを上げ、収益力の回復と向上、ならびに営業キャッシュフローの改善を目指してまいりました結果、粗利率が改善していることから、営業利益に関しましては変更ございません。

経常利益に関しましては、子会社の G-Trading RUS において当社に対する買掛債務に対する為替差損が 224 百万円、同じく Samurai Motors において当社に対する買掛債務に対する為替差損が 8 百万円発生したことに加え、ロシア向け債権に関連して行った為替予約に対する為替差損 24 百万円が発生し、その全額 257 百万円を営業外損失として計上することで予想を大幅に下回る見通しであります。

また、当期純利益に関しましては、平成 21 年 6 月 4 日に発表いたしました「経営合理化(希望退職者等の募集)に関するお知らせ」に関連して発生した事業整理損失を 55 百万円、子会社株式会社ジー・バス販売において発生した事業整理損失を 11 百万円、その合計金額の 66 百万円を特別損失として計上する一方で、平成 21 年 2 月期に貸倒引当金対象債権として計上しましたロシア向け売掛債権の一部が回収されたことによる貸倒引当金戻入益を 52 百万円、夏季賞与の支給を見合わせたことによる賞与引当金戻入益を 16 百万円、その合計金額 68 百万円を特別利益に計上することで、上記営業外損失の影響のみを勘案した数値となる見通しであります。

(個別)

売上高に関しましては、平成 21 年 1 月 30 日に発表いたしました「人員削減等の合理化に関するお知らせ」と平成 21 年 6 月 4 日に発表いたしました「経営合理化(希望退職者等の募集)に関するお知らせ」により、従業員数が発表前の 72 人から 44 人に減り、当社の営業スタイルが人的資源に依存することからこの影響を受け、大幅に減少いたします。

一方で、営業利益に関しましては、平成 21 年 1 月 30 日に発表致しました「人員削減等の合理化に関するお知らせ」のもと、営業拠点の統廃合や希望退職者の募集等でコスト削減を中心とした収益構造改革を強力に進め、親会社のガリバーインターナショナルとの連携により、情報量を増やし、仕入ソースと販路を拡大することで業界シェアを上げ、収益力の回復と向上、ならびに営業キャッシュフローの改善を目指してまいりました結果、粗利率が改善したものの、売上高の減少を吸収出来ず前回業績予想を若干下回る見通しであります。

經常利益に関しましては、ロシア向け債権に関連して行った為替予約に対する為替差損 24 百万円が発生し、予想を下回る見通しであります。

また、当期純利益に関しましては、平成 21 年 6 月 4 日に発表いたしました「経営合理化（希望退職者等の募集）に関するお知らせ」に関連して発生した事業整理損失が 55 百万円、連結子会社の当四半期損失の発生に対し貸倒引当金を 145 百万円、その合計金額の 200 百万円を特別損失に計上する一方で、夏季賞与の支給を見合わせたことによる賞与引当金戻入益 16 百万円を特別利益に計上することで、經常外損失を 184 百万円計上することとなり、予想を下回る見通しであります。

上記の予想は本資料発表時において入手可能な情報に基づき作成しておりますが、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以 上